

令和5年度 全国体力・運動能力，運動習慣等調査結果の概要

令和6年 1月

燕市教育委員会

1 調査の概要

(1) 調査の趣旨

燕市児童生徒の体力・運動能力，運動習慣等の現状を明らかにし，学校における体力向上や運動好きな児童生徒の増加に向けた取組を推進するため，国で実施している児童生徒の体力・運動能力，運動習慣等調査の結果を取りまとめました。

(2) 調査対象

燕市立学校の小学校 5 学年段階(10 歳)，中学校第 2 学年段階(13 歳)

(3) 調査実施の時期

令和 5 年 5 月～令和 5 年 7 月

(4) 調査内容

ア 実技テスト調査

体力テスト種目		単 位	体力要素	測 定
①	握力	kg	筋力	左右握力の平均値
②	上体起こし	回	筋パワー・筋持久力	30 秒間に上体を起こした回数
③	長座体前屈	cm	柔軟性	長座位で前屈したときの両手の前方への移動距離
④	反復横とび	点	敏捷性	20 秒間に両脚で左右側方に反復跳躍した回数
⑤	20m シャトルラン	回	全身持久力	20m 走行の折り返し回数
⑥	50m 走	秒	疾走能力	50m の疾走時間
⑦	立ち幅とび	cm	筋パワー・跳躍能力	両脚で前方へ跳躍した直線距離
⑧	ソフトボール投げ	m	巧緻性・投球能力	ソフトボールを遠投した距離（中学校はハンドホール）
体力合計点		点	8 種目の体力テスト成績を 1 点から 10 点に得点化して総和した体力テスト合計得点	
総合評価		5 段階	体力テスト合計得点の良い方から ABCDE の 5 段階で評定した体力の総合評価	

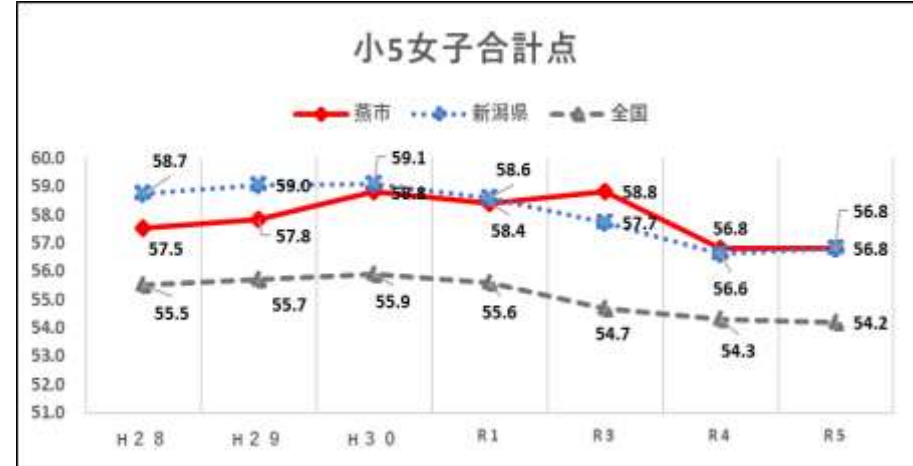
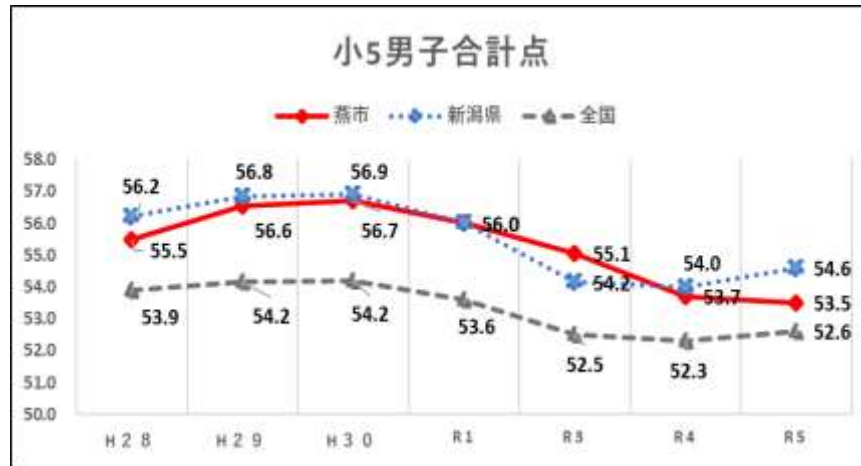
イ 児童生徒アンケート調査

(ア) 運動習慣の状況 (イ) 運動への意識 (ウ) 授業に対する意識 (エ) 生活習慣の状況

2 調査結果のまとめ

(1) 体力合計点平均値の年次推移について(燕市, 新潟県, 全国)

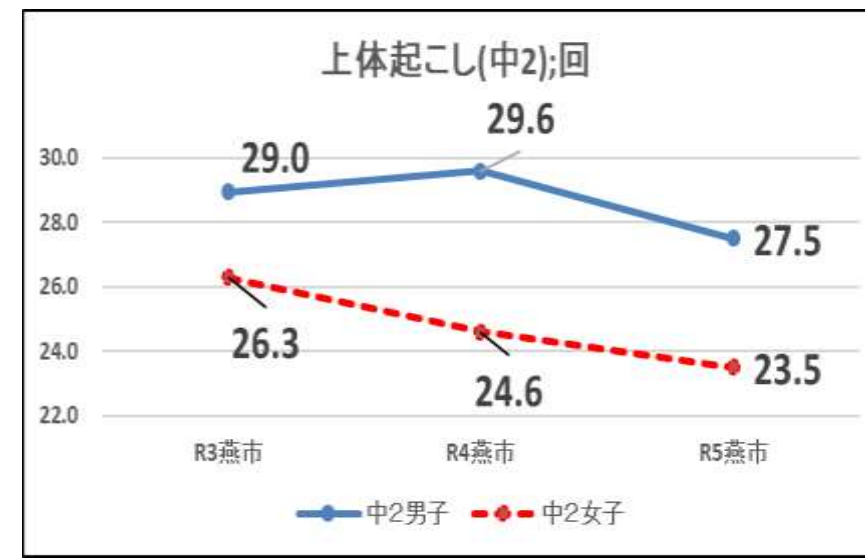
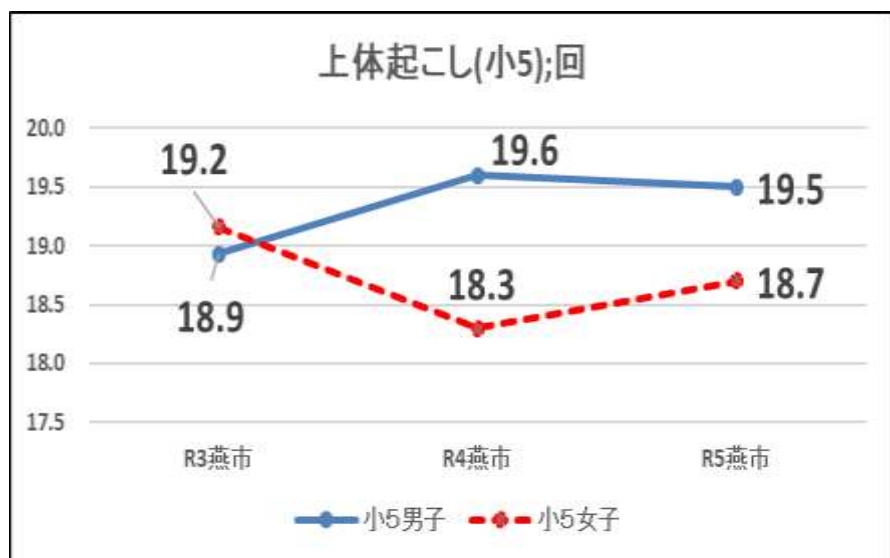
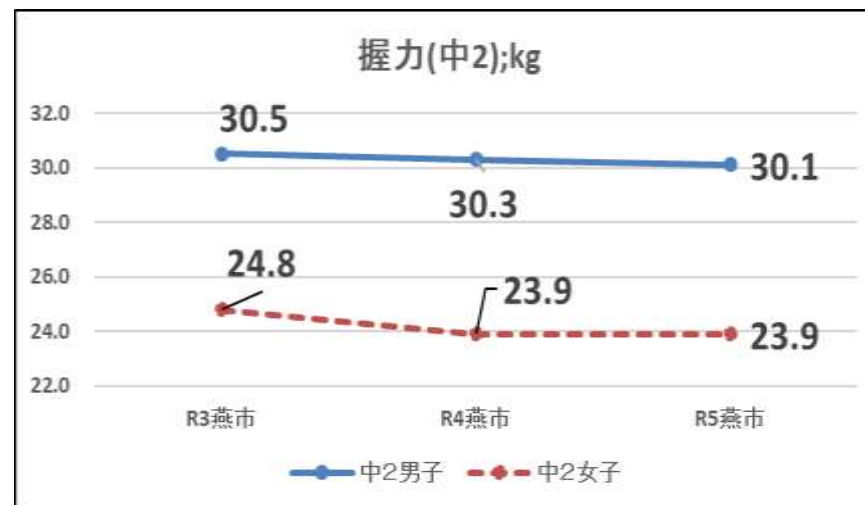
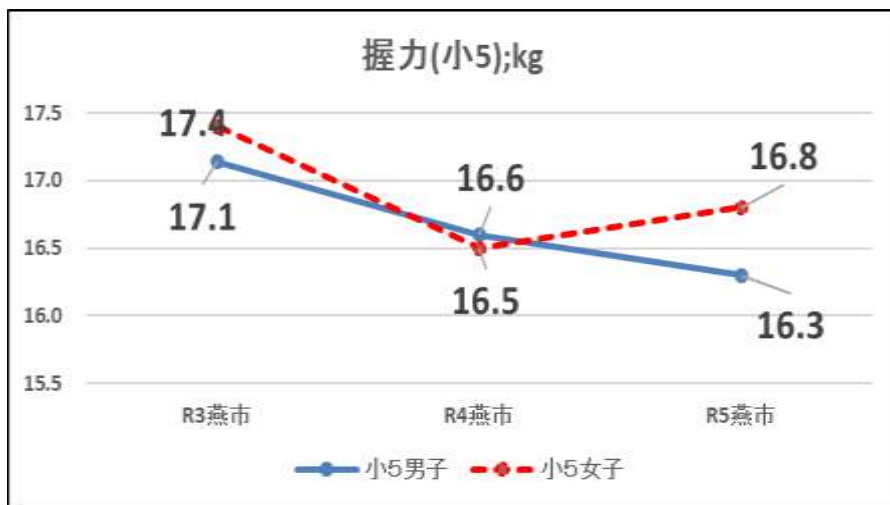
■ 小学校第5学年(10歳)

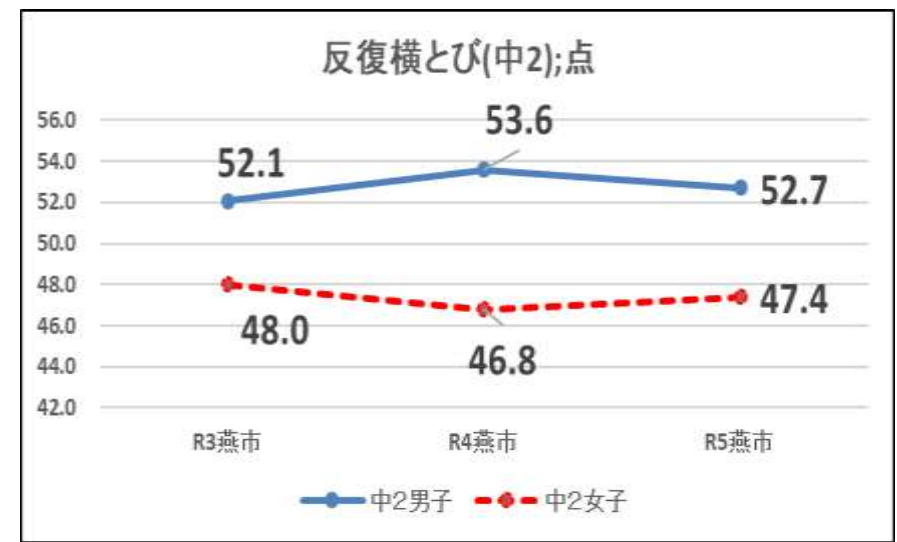
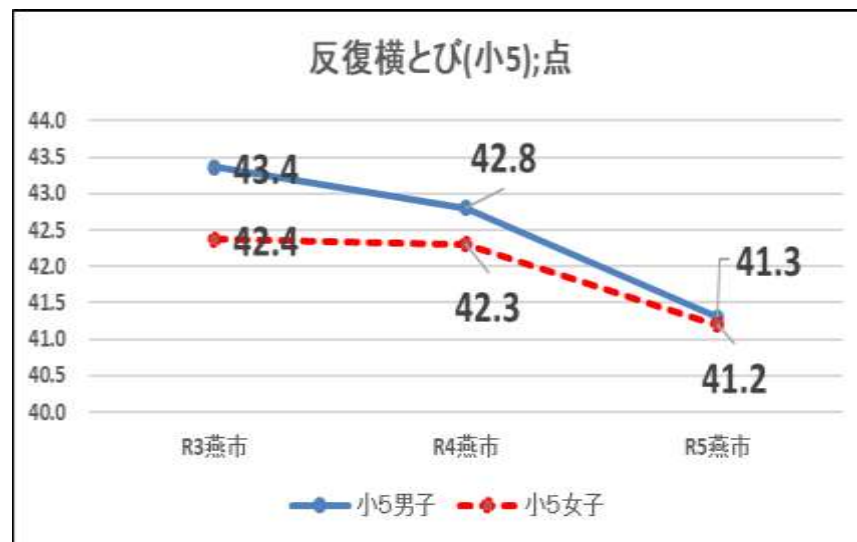
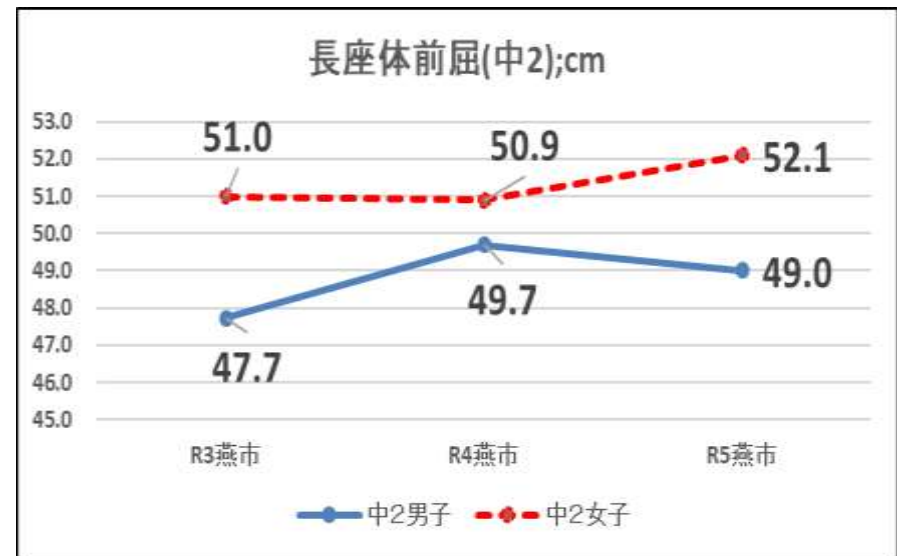
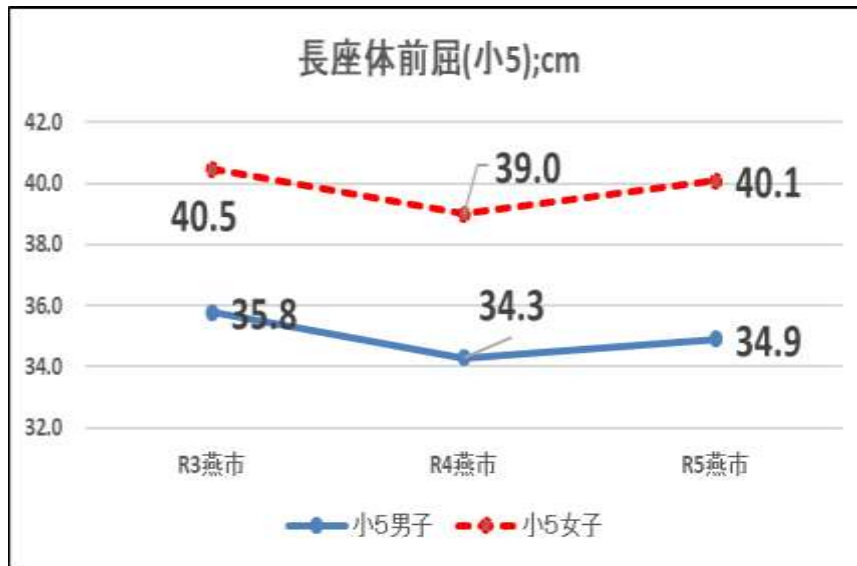


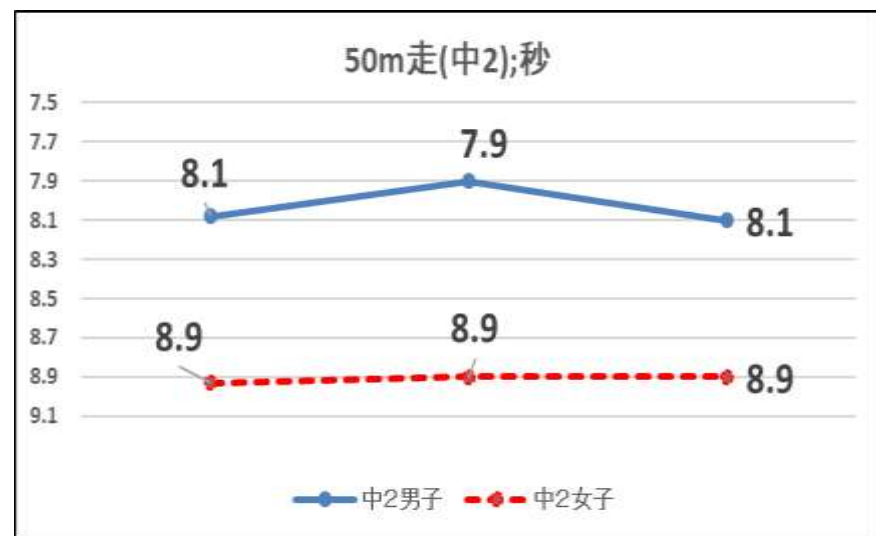
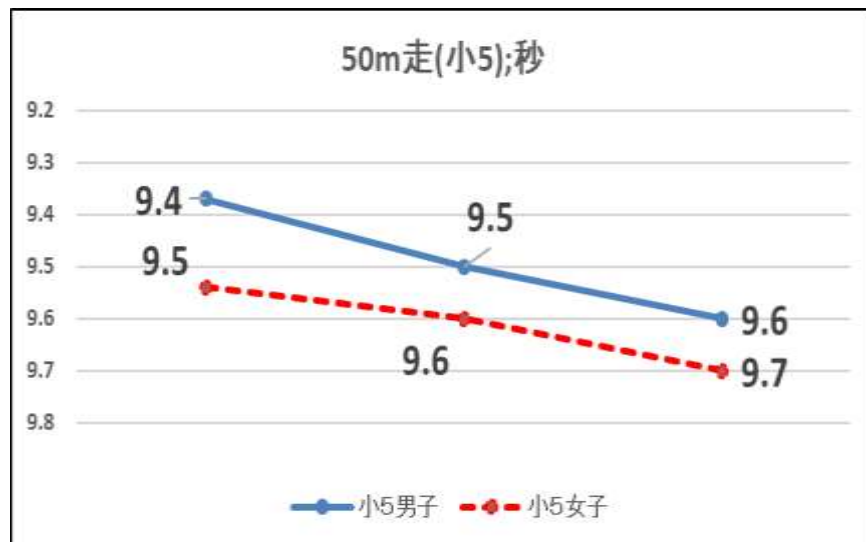
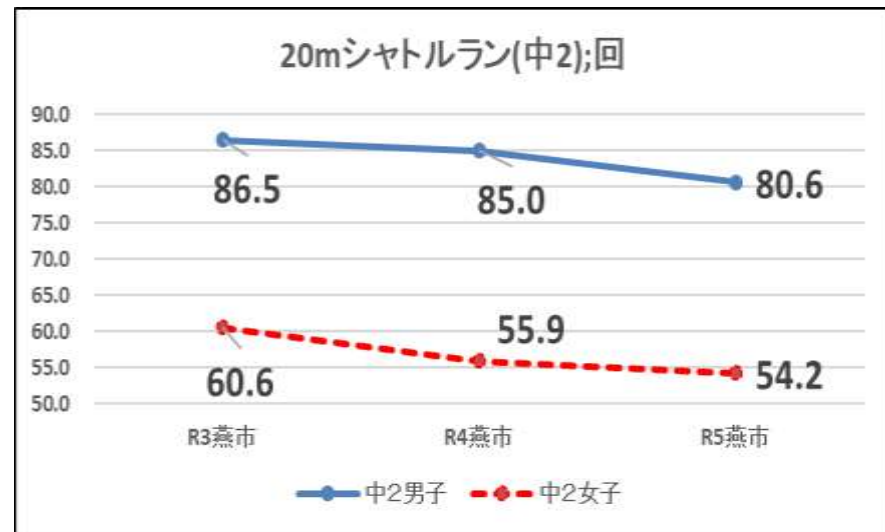
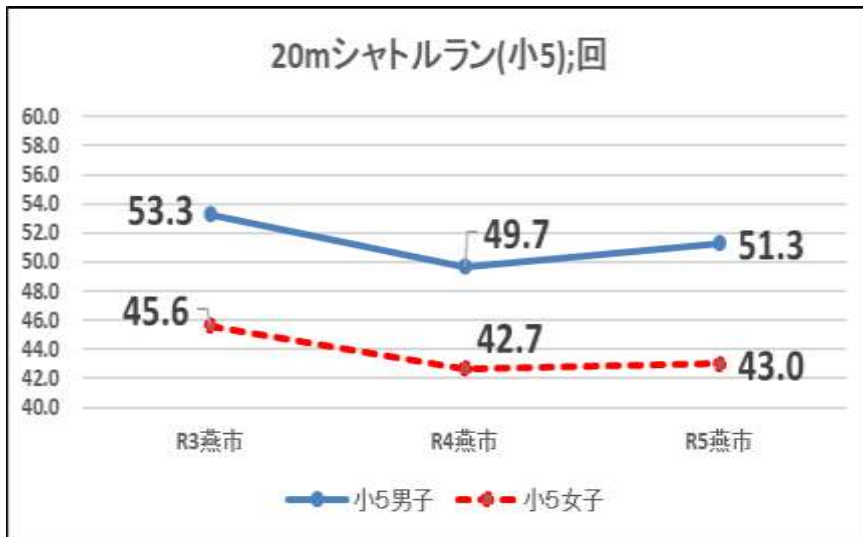
■ 中学校第2学年(13歳)

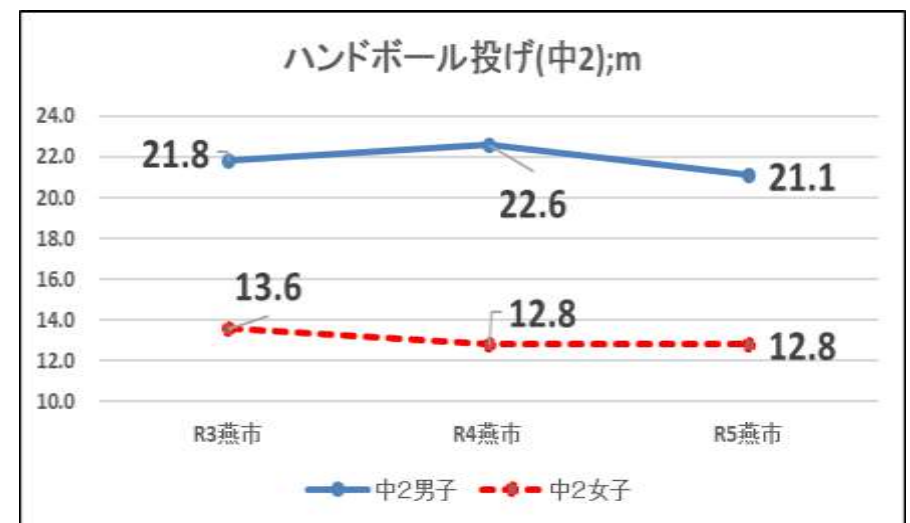
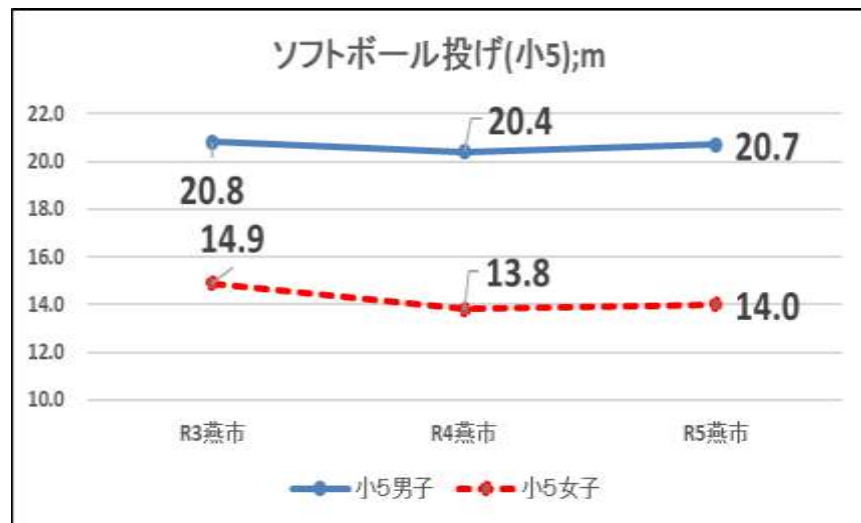
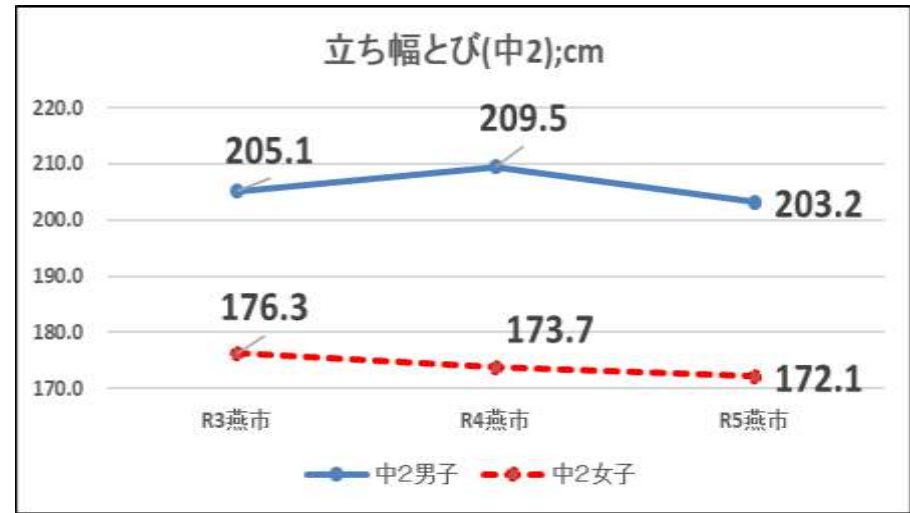
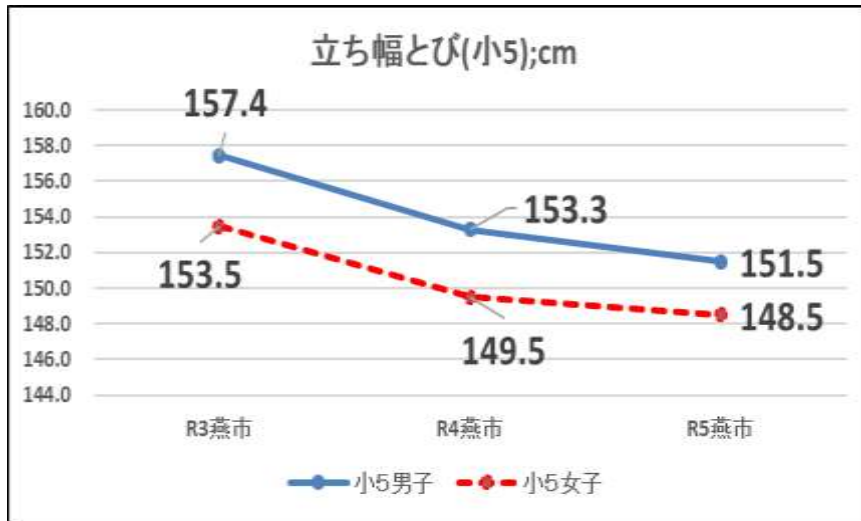


(2) 体力テスト種目別の推移(燕市)

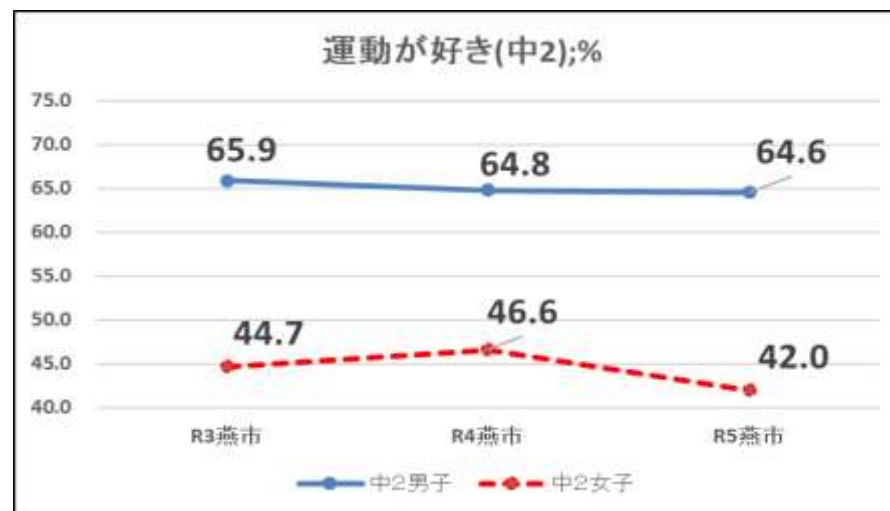
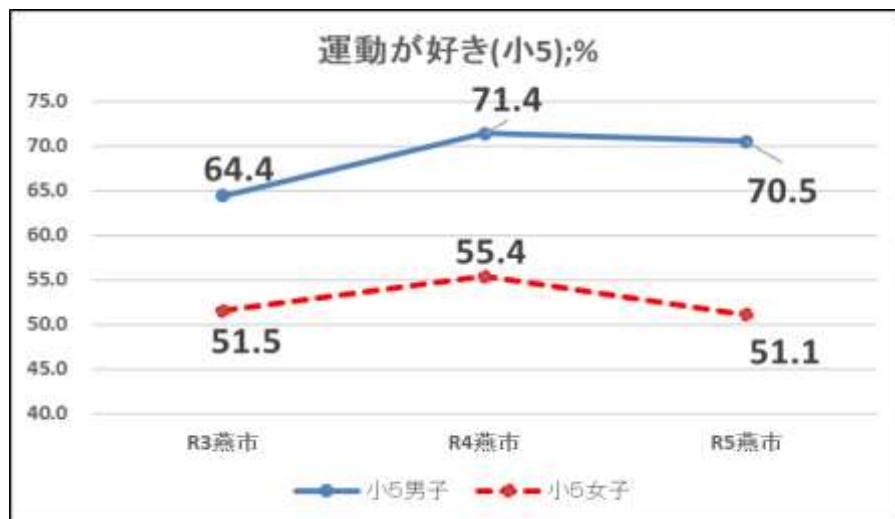






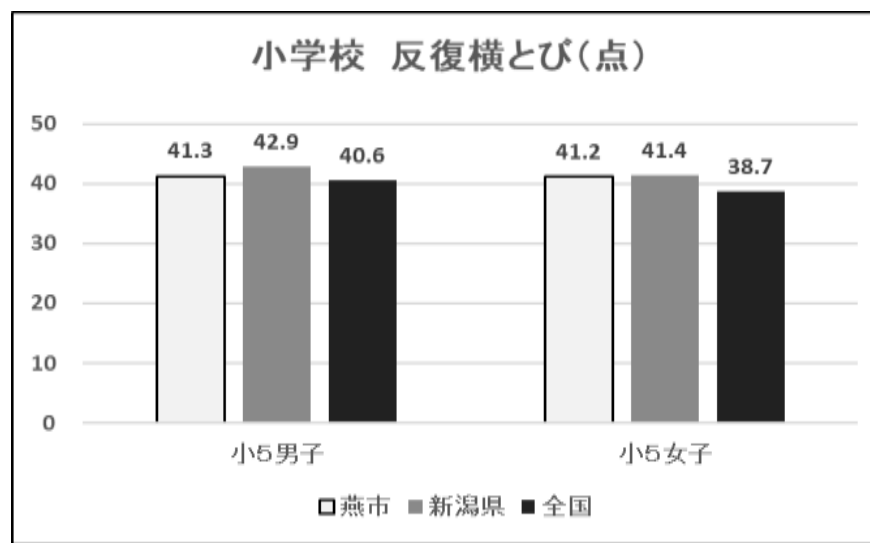
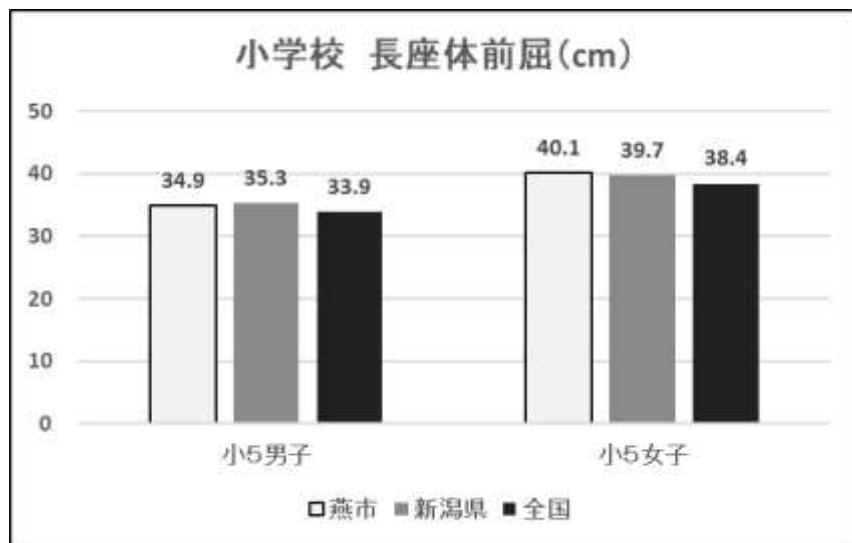
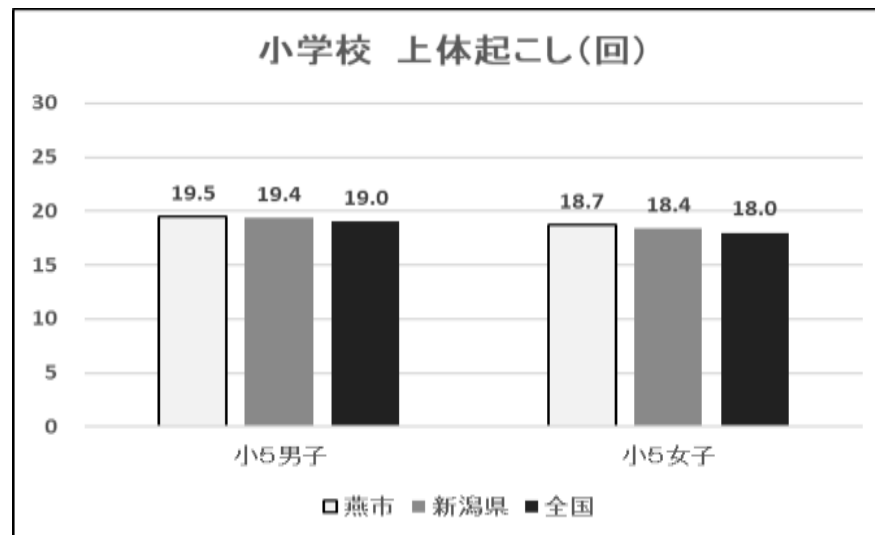
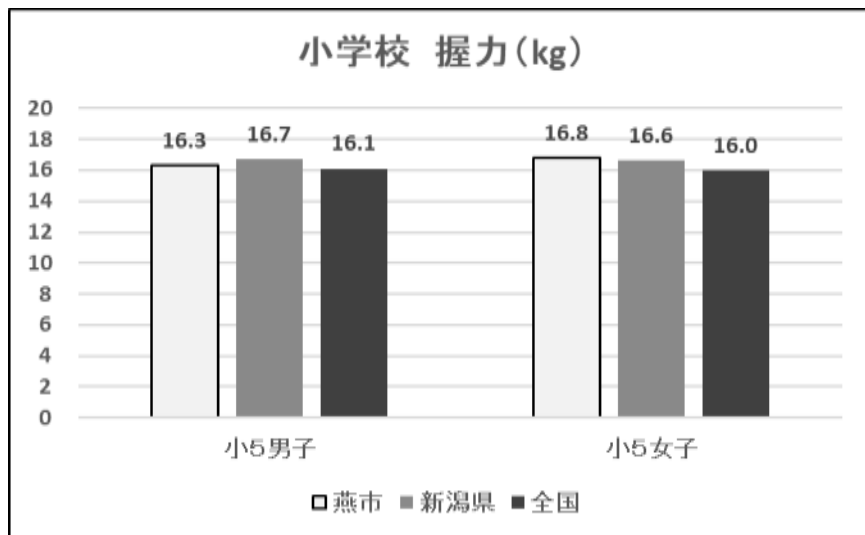


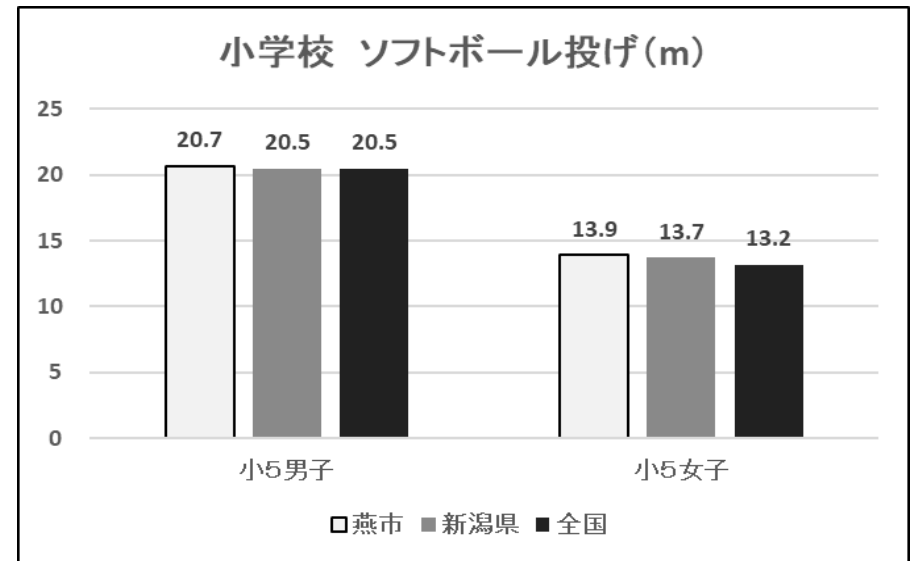
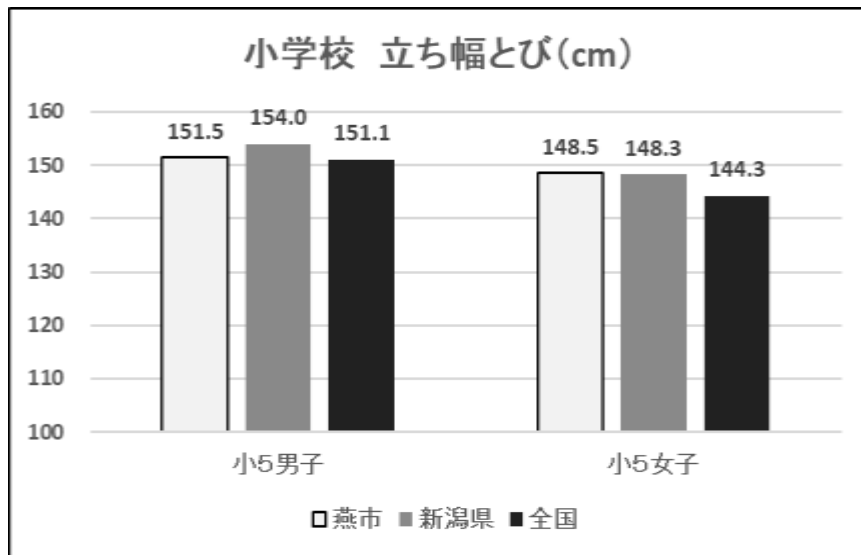
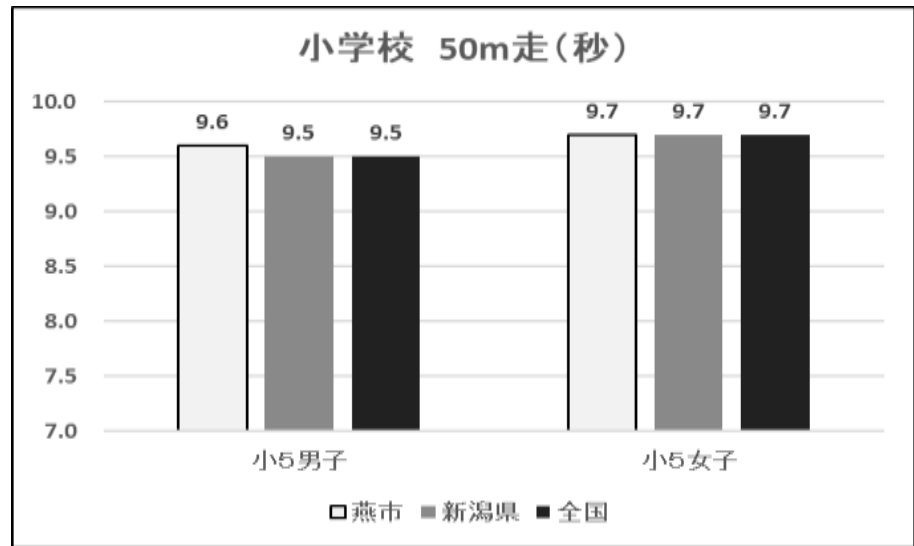
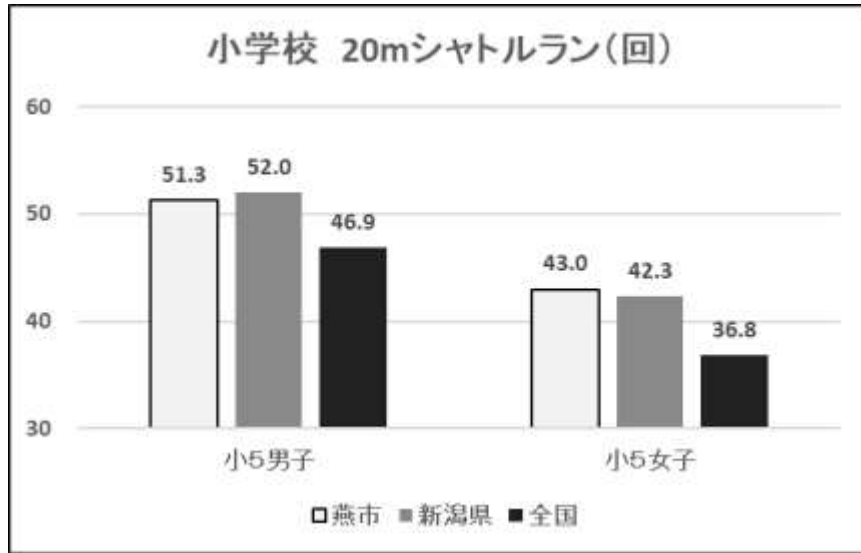
(3) 運動習慣等の推移(燕市)



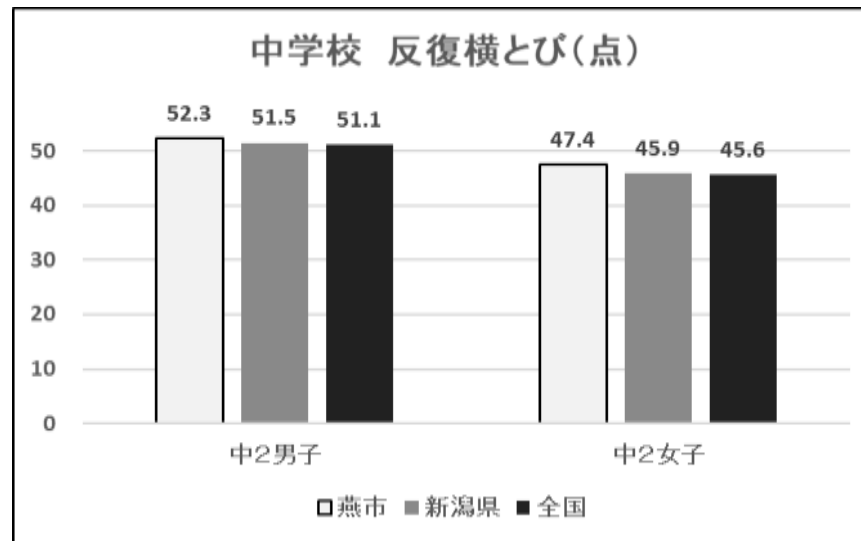
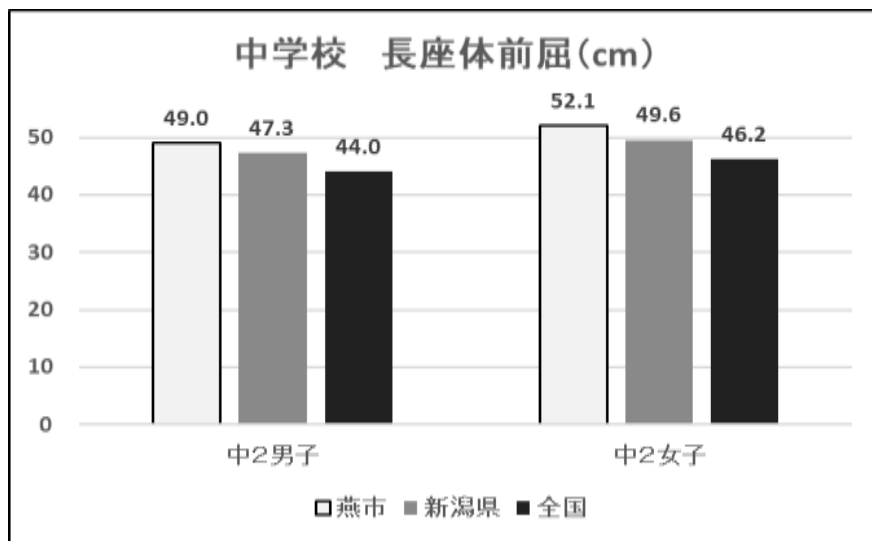
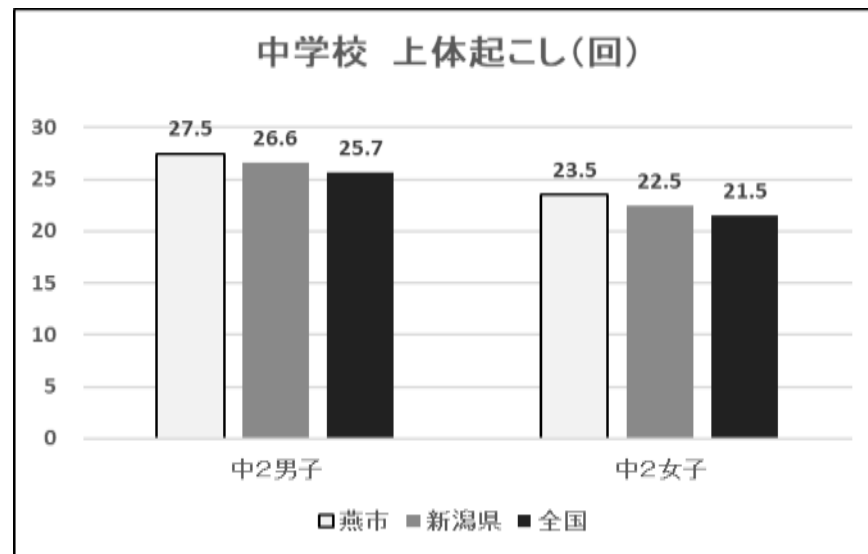
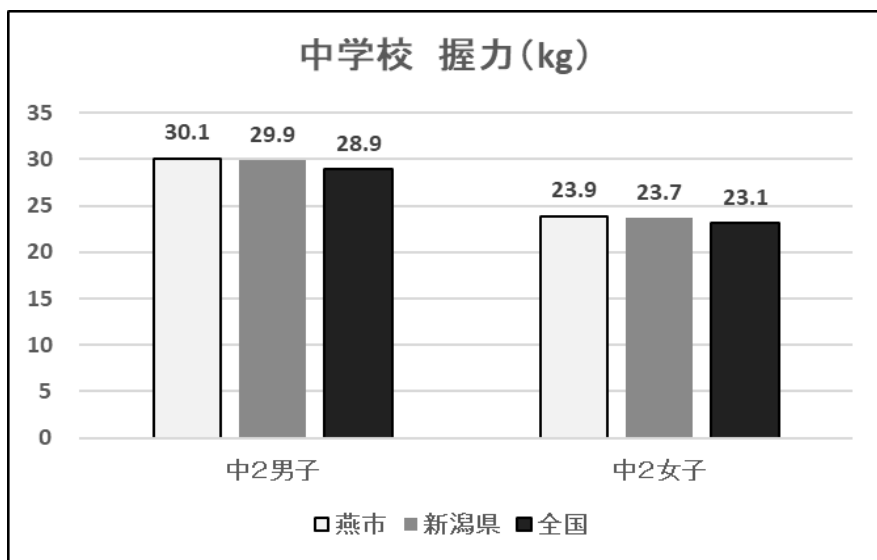
(4) 全国・県との比較(運動種目)

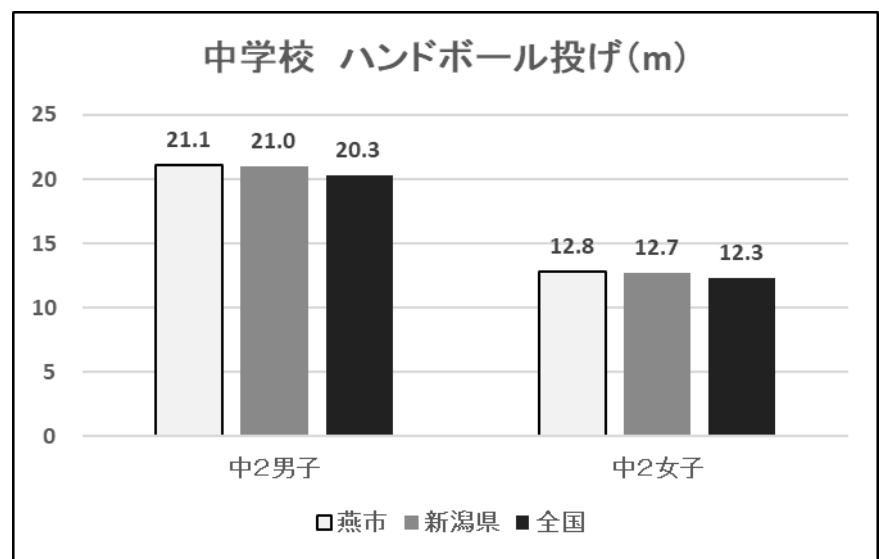
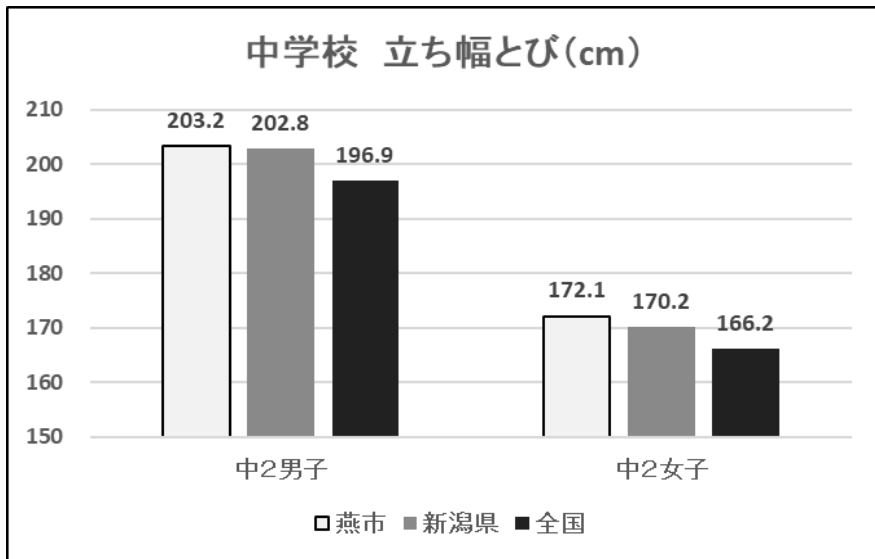
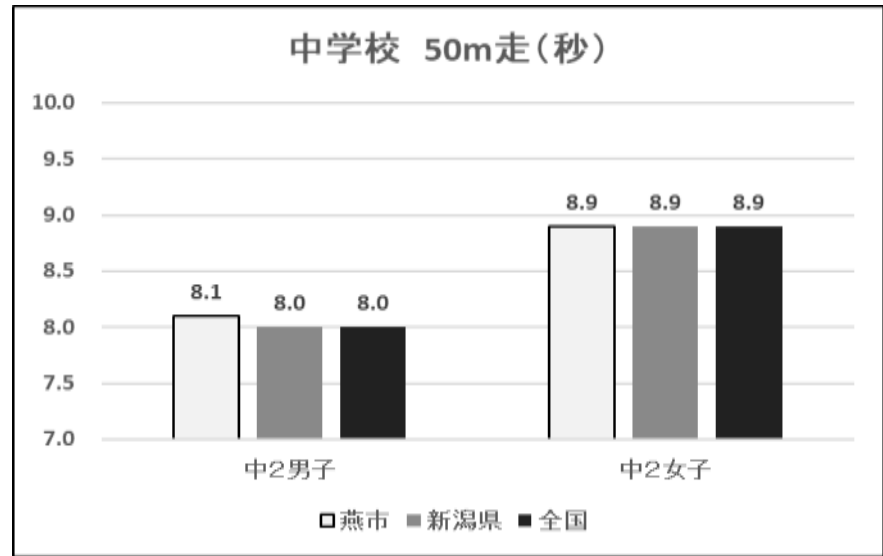
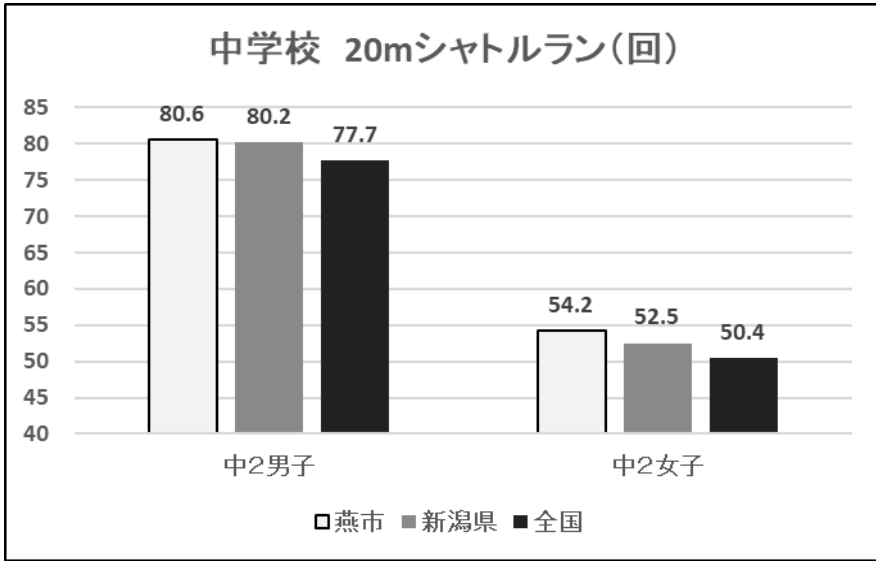
[小学校5年生]



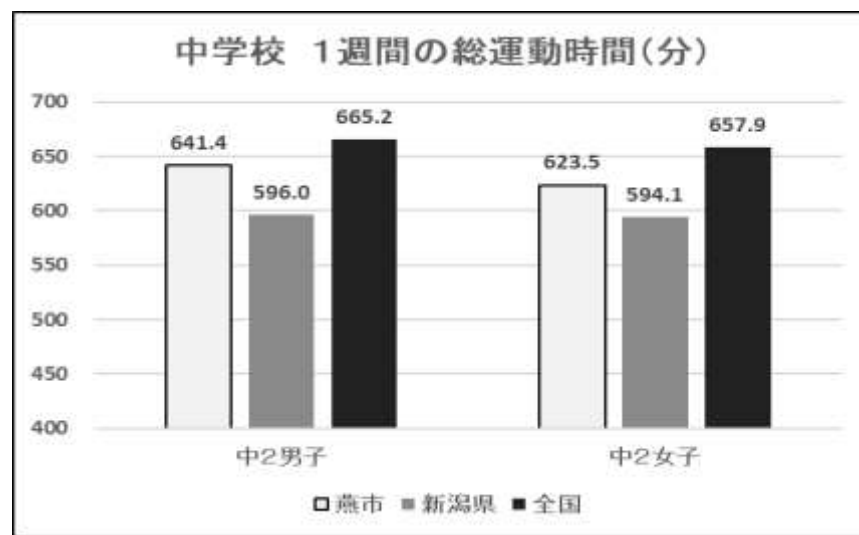
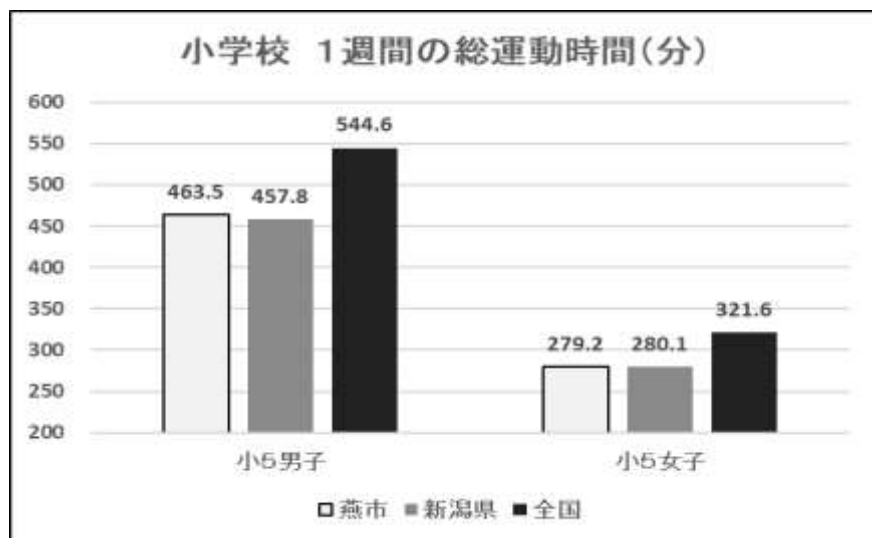
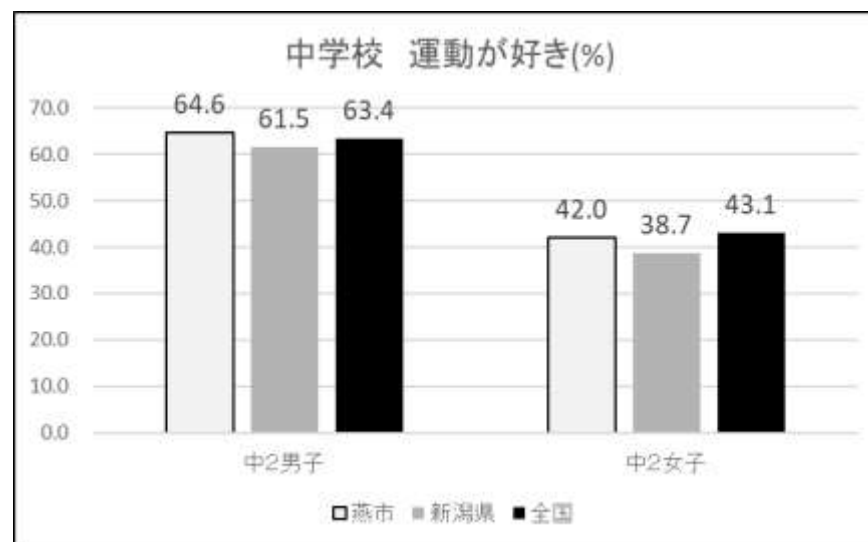
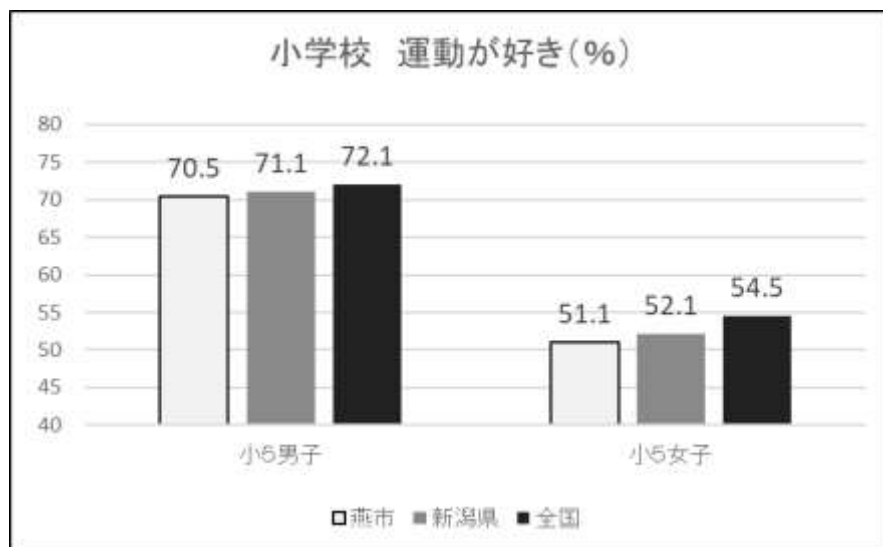


[中学校 2 年生]





(5) 全国・県との比較(運動習慣等)



3 結果の概要と今後の方策

(1) 結果の概要

① 運動能力に関する調査

[令和4年度との比較]

ア 実技合計点において、中学校の女子では上回りましたが、小学校の男女、中学校の男子では下回りました。

イ 小学校の男子は、長座体前屈、シャトルラン、ソフトボール投げが上回りました。

ウ 中学校の男子では、上回った種目はありませんでした。

エ 小学校の女子では、握力、上体起こし、長座体前屈、シャトルラン、立ち幅とび、ソフトボール投げが上回りました。

オ 中学校の女子では、長座体前屈、反復横とびが上回りました。

[県平均との比較]

ア 実技合計点において、中学校では男女とも上回りましたが、小学校の女子は同程度、男子は下回りました。

イ 小学校の男子では、上体起こし、ソフトボール投げ上回りました。

ウ 中学校の男子では、握力、長座体前屈、上体起こしで上回りました。

エ 小学校の女子、中学校の女子では全て上回りました。

[全国との比較]

ア 実技合計点において、小学校の男女、中学校の男女で上回りました。

イ 小学校の男子では、握力、長座体前屈、上体起こし、反復横とび、シャトルラン、立ち幅とび、ソフトボール投げ上回りました。

ウ 中学校の男子では、50m走以外の種目で上回りました。

エ 小学校の女子、中学校の女子では全て上回りました。

② 運動習慣等に関する調査

[令和4年度との比較]

ア 「運動が好き」と回答した割合は、小学校の男子は上回りましたが、小学校の女子、中学校では下回りました。

イ 1週間の総運動量は、小学校の男子と中学校の女子は上回りましたが、小学校の女子と中学校の男子は下回りました。

[県平均との比較]

ア 「運動が好き」と回答した割合は、中学校では男女とも上回りましたが、小学校では男女とも下回りました。

イ 1週間の総運動量は、小学校の男子、中学校の男女で、上回りましたが、小学校の女子は下回りました。

[全国との比較]

ア 「運動が好き」と回答した割合は、中学校の男子で上回りましたが、小学校の男女、中学校の女子は下回りました。
イ 1週間の総運動量は、全てで下回りました。

(2) 考察

- ① 全国と比較すると燕市の体力は高いと言えます。
- ② 全国的には、小中学生の男女とも低下しています。燕市でも、中学校の男子では向上しているものの、小学校の男子、女子、中学校の女子は低下しています。しかし、全国と比較すると低下率は低くなっています。
- ③ 県の施策である「1学校1取組」への真摯な取組が上記の要因と思われる。具体的には、以下のとおりです。
 - ・ コロナ禍での年間指導計画の改善
 - ・ 保健、体育授業の工夫(特にICTを活用した児童生徒の学習意欲向上等)
 - ・ 健康・体育的行事の充実(児童生徒の運動量の確保に向けた取組等)
 - ・ 健康教育の充実(眠育やメディアコントロールの取組等)
 - ・ 運動部活動の充実(体力テストの結果を基にした運動メニューの工夫等)
 - ・ 学校生活の工夫(全校又は学年ごとで体を動かす場と時間の確保等)
 - ・ 保護者・地域との連携(学校保健委員会の活用等)
- ④ ヘキサスロンの取組(社会教育課主催)やつばくろいきいきスポーツクラブの取組も要因と思われます。

(2) 今後の方策

- 体力・運動能力、運動習慣などの改善に向けて、課題とその改善に向けたポイントを示した目標と指導計画を策定し、体力向上や健康の保持増進ができるよう指導助言します。
- 体育の授業等において、ICT機器の効果的な活用が図られるよう、指導助言します。
- 令和5年度の「1学校1取組」での優れた実践を紹介し、共有していきます。
- 未来いきいき地域クラブの取組も充実させていきます。
- ヘキサスロンの取組やこども手帳の取組等、他課との連携を図っていきます。